

トラウマ&バイオレンス・インフォームド・ケア (TVIC)

医療・福祉職・支援機関のためのツール

トラウマとは、戦争や災害、事故や喪失など、打ちのめされるようなネガティブな出来事を体験することであり、かつその出来事に対する反応でもあります。

ある出来事がトラウマになるのは、その人の神経生物学的要因、過去のトラウマや暴力の被害経験、そしてその人が属しているコミュニティや社会構造の影響などが相互に複雑に作用しているためです。

トラウマは脳や神経系の機能を変化させます。変化は不可逆的なものではないかもしれませんが、トラウマを経験した人の行動に長期に渡る影響を及ぼします。

例えば、幼少期の逆境体験 (ACEs) は、ストレス、不安、うつ、危険な行動、物質使用など、長期的な変化をもたらす可能性があります。暴力を経験すると、神経生物学的パターンだけでなく、遺伝的構造も変化し、健康やウェルビーイングに影響を及ぼす可能性があります。

トラウマインフォームドケア (TIC) は、トラウマがサービス利用者にもたらす影響や、トラウマの健康や行動との密接な関連性を理解することによって、利用者の安全性を作り出します。TICは、決して人々のトラウマ経験を聞きだしたり、治療しようとするものではありません。

トラウマは、社会システムが人々の過去の被暴力体験を認識できず、適切に対処できなかった場合など、何かをしなかったことによってももたらされることがあります。

TVICは以下に注目します

- 人々の健康に影響を与える種々の社会的状況
- 構造的、組織的、制度的な暴力を含む継続的な暴力
- 社会システムや人々の知識・行動様式に埋め込まれている差別や有害な取り組み
- 安心と信頼を高める取り組みへの転換の必要性

トラウマ&バイオレンス・インフォームドケア (TVIC)

は、TICを発展させ、制度的・对人的暴力と構造的不公平の相互の影響を考慮し、過去及び現在も継続する暴力とそのトラウマに与える影響の両方を強調します。TVICでは、その人の過去および現在の暴力体験に焦点をあて、困難がその人の心理状態と社会的状況の両方にあるとみなします。

特に不公平や構造的暴力が続く中で恐ろしい経験に直面した際には、**物質使用やメンタルヘルスの悪化**など、トラウマや暴力に対する種々の反応が生じることは容易に想定されます。TVICは、特にさらなる被害を防いで、個別の支援や制度を安全なものにする事に努めます。

このツールはTVICの4つの原則の概要、個人と組織レベルでの実践方法を示し、そして、暴力やトラウマ体験が、社会的・構造的な健康の決定要因と強く関連することを強調します。

TVICは、公平性を重視するヘルスケアの重要な側面です。
ハームリダクション、文化的安全性と謙虚さ、そしてTVICは、公平性を促進する相互に関連する概念です。

TVIC、代理トラウマ、文化的安全性、ハームリダクションなどに関する関連ツールや学習モジュールは WQUIPHealthcare.ca を、ジェンダー、トラウマ、暴力に関するその他の資料は GTVincubator.ca をご覧ください

トラウマ&バイオ
レンスインフォー
ムド・ケア

ハーム
リダクション

文化的
安全性

TVICに基づく支援

支援者には何ができるのか？

- ・トラウマや暴力の経験が、サービスを提供する人々に影響を与える可能性があることを認識している支援者は、支援関係の中でケアを受ける人が安全だと感じる事ができるような取り組みを実践することができます。
- ・TVICを実践している支援者は、熱意や仕事への満足度が高く、サービス利用者との連携が深まったと報告しています。

組織に何ができるのか？

組織は、以下の方法でTVICを促進することができます

- ・TVICを推進する効果的な制度の構築
- ・トラウマや暴力に関する知識、スキル、意識を高めるための研修を支援者が利用できるようにサポートする
- ・トラウマや暴力を経験した人たちの支援する支援者が、安全で快適でいられるようにサポートする

TVICの4つの原則

1 意識と理解を深める

トラウマや暴力に配慮した支援を実践するすべての組織は、以下に関する全ての職員の意識を高める事から始める

- ・トラウマや暴力被害を経験している人が多い事
- ・過去の（集団や個人からの）、および現在も進行している（対人的・構造的）暴力の重大性
- ・トラウマが生涯を通してどのように発達に影響を及ぼすか
- ・人々の暴力やトラウマへの順応の仕方は多様である事
- ・トラウマや暴力の、慢性疼痛・物質使用・心身の健康問題との関連

TVICを提供する際には、自分自身が持つ経験や権力、思い込みについて振り返る必要があります

“

組織は、トラウマ、暴力、TVICに関するトレーニングが全ての職員に提供され、それを完了するための時間とサポートを提供しなければならない。

2 安全、信頼の重視

TVICを提供するために、個人のトラウマや暴力の経験を把握する必要はありません。誰もが尊重され、安全なケアを受けられなければいけません。

- ・個人や集団の歴史や背景を理解する
- ・対象者を歓迎する支援環境づくりと支援手続き
- ・快適で安心して対話することができる物理的空間の提供
- ・支援から得られる利益について明確かつ正確に伝える
- ・インフォームドコンセントと機密保持の徹底
- ・必要に応じて、緊急事態の安全確保のための計画作りを手伝う
- ・これらの戦略は、トラウマや暴力を経験したかどうかにかかわらず、すべてのサービス利用者が（再）トラウマを受けたり、傷ついたりしないようにするための普遍的なアプローチであると考えてください

“

組織は、TVICをサポートするための資源や制度を提供しなければならない

3 繋がり と 協働 で 公正 な 選択 肢 を 提供 する

- ・ ケア の 選択 肢 は、 有 意 義 で 現 実 的 で あ る べ き で す (適 切 で、 経 済 的 に 無 理 が な く、 利 用 し や す い も の で あ る こ と)
- ・ 選 択 肢 は、 そ の 人 の ニーズ と 希 望 を 中 心 に 据 え て、 協 働 で 作 り 上 げ る べ き も の で す
- ・ 組 織 的 な 方 針 と し て、 柔 軟 性 が あ り、 (例： プ ロ グ ラ ム の 選 択 肢)、 共 同 意 思 決 定 を 推 進 す る 必 要 が あ り ま す
- ・ プ ロ グ ラ ム の 計 画 と 評 価 は そ の サー ビ ス を 利 用 す る 人 と と も に 行 う 事 が 必 要 で す

“

先住民寄宿学校での過去の体験が、現在の健康にどのような影響を及ぼしているかなど、より繊細なことを考慮することで、私はより思いやりを持ち、より良いケアを提供することができるようになりました

4 人 の 強 み を 見 つ け、 そ れ を 活 か す

- ・ それまでの人生、そしてトラウマや暴力を含む過去と現在の状況が人々の生活に与える影響を認識する
- ・ 対象者の強みを認識し、それを認める。そして、次の段階にそれをどう生かすかを検討する
- ・ 組織の方針として、対象者との意義のある交流を確保するために、時間の使い方に柔軟性を持たせる
- ・ プログラムや支援サービスは、人々のニーズに合わせて設計され、個々の多様な人生に柔軟に対応できるものでなければならない

“

職員の人々が私の話に耳を傾け、敬意をもって接し、意思決定に私を加えてくれるなら、私は安心して、自分の健康のために必要なことをすることができます

TVICは全ての人、特にスティグマや人種差別などの差別に直面している人が、あなたのケアでさらに傷つくことがないようにするための**普遍的なアプローチ**です。

そのためには、**個々の支援者と組織の意思決定者**が自分自身の思い込みや信念を検証し、謙虚さと人間味をもって仕事に取り組むことが必要なのです。

このような支援の実践は、人々の経験したトラウマや暴力被害に関する具体的な情報を開示してもらったり、把握しておくことは必要ではないという事も示しています。**全ての人**が、**尊重され、安全なケアを受ける事**が必要です。

言葉の重要性

“バタードウーマン”
“乱用者”“シャブ中”“危険”
ではなく
“女性”“男性”“人々”

“困った患者”
ではなく
“不適切なケア”

“困り感がない”
ではなく
“支援がニーズに合っていない”

“薬を求めている”
ではなく
“苦痛からの解放を求めている”

How to cite this document (日本語版は次ページ)

Wathen, C.N. & Varcoe, C. (2021). Trauma- & Violence-Informed Care (TVIC): A Tool for Health & Social Service Organizations & Providers. London, Canada.

トラウマ&バイオレンス・インフォームド・ケア 組織と個人のためのガイド

1 トラウマや暴力、それが人々の生活や行動に与える影響について理解する

<例>

組織の方針と手順

- トラウマと暴力への理解に基づいた文化を構築するための方針とプロセスの開発
- 暴力やトラウマの健康への影響、および代理トラウマに関するスタッフトレーニングを提供する

個人の実践

- 潜在的な被害経験や影響（「レッドフラッグ」）に注意すること
- 自己開示に適切に対応する
 - ・ 体験を信じる、肯定し是認する、安全やウェルビーイングに配慮していることを伝える

2 全てのクライアントと支援者にとって感情的・物理的に安全な環境を提供する

<例>

組織の方針と手順

- 歓迎する雰囲気とインテークプロセスの構築、機密保持と本人の希望に基づいた支援に力点をおく
- 安全で包括的な戦略について、サービス利用者に意見を求める
- 代理トラウマのリスクのあるスタッフをサポート（ピアサポート、チェックイン、セルフケア・プログラム）

個人の実践

- 非審判的なアプローチをする（受け入れられている、価値があると思える事）
- つながりと信頼をはぐくむ
- 明確な情報と期待を提供する

TVIC

3 選択、協働、つながりの機会を促進する

<例>

組織の方針と手順

- 柔軟性を持たせ、共同意思決定と参加を促す方針とプロセスを持つ
- サービスやプログラムの実施方法を見つけ出す作業をサービス利用者や協働で行う

個人の実践

- 現実的で有意義な選択肢を提供する
- 選択肢を協働で考える
- 積極的に耳を傾け、その人の声を大切に

4 ストレングスに注目し、クライアントの能力・可能性を高める支援を中心に据える

<例>

組織の方針と手順

- 有意義な交流のために十分な時間を確保する
- 人々のニーズ、強み、文脈に合わせたプログラムの選択肢を提供する

個人の実践

- クライアントが自身の強みを認識できるよう支援する
- 歴史的、構造的条件の影響を認識する
- 心を落ち着かせ、センタリングし、トリガーを認識するためのスキルを教える

引用方法（日本語版）

ワゼン、ネイディーン・バルコエ、コリーン。(2021).トラウマ&バイオレンス・インフォームド・ケア（TVIC）医療・福祉職・支援機関のためのツール. TVIC翻訳チーム訳, London, Canada.